

令和7年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

管理機関名(兵庫県)

1. 取組についての評価

- ・目的が明確
「全体ポンチ絵・管理機関の役割・自治体と専門高校の役割」は大変分かり易く、県民も理解し易い(全国への良きモデル)
近畿経済産業局との連携、金融機関との連携には、自走化を含む継続への覚悟が見える
関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの協力と、産学連携コーディネーターの立ち位置がよく分かる
- ・専門高校生のプライド【他校生には出来ない技術を伴った知識】が良く育まれている
企業連携のコラボ授業は、将来の仕事へのプライドに繋がっている
堂々とした生徒発表には、生徒の誇りと成長が凝縮されている(是非とも県民に見せる機会を作って欲しい)
「バッテリー人材育成テンプレート教材」が、拠点校と連携校の教材として活用されている
全科共創課題研究は、社会における各事業所の役割を自覚させる良きグループワークなので、是非継続を
- ・「座学よりも体験型学習が印象に残った」の圧倒的評価は、マイスター・ハイスクール事業の根幹
「モノから学ぶ姫工モデル」の素晴らしさがよく分かる
コンソーシアム構成員と学校が協議し、カリキュラムに位置付け、シラバスの評価改善を期待したい
- ・蓄電池に関する興味・関心や技術への理解について、主要学科である工業化学科のみならず、全学科の生徒が「自分とのかかわり」の中で考えることができる授業の工夫がなされている。また、ループリックの活用により、生徒が「できるようになること」が明確化されている点も大変参考になる。さらに、連携校においてテンプレート教材が活用され、生徒のキャリア形成に効果的に機能している点も評価できる。

2. 今後の課題と考えられること

- ・専門高校生のプライドへの動機づけを、一年次から仕掛けて欲しい
例えば、蓄電池から広がるSDG's・カーボンニュートラル や
近未来社会を担うのは私達の技術力=バッテリー性能向上と先端製造技術 など
- ・バッテリーを学ぶのか、製造技術を学ぶのか、をコンソーシアム構成員と検討を
その上で学ぶべきIoT技術やAI活用を絞り込み、先端技術を学んでいる意識と意欲を育んではどうか
- ・学校外で、「姫工モデル」成果を県民市民に周知する機会が欲しい
課題研究発表会を、近畿経済産業局や金融機関に公開
県民が魅力を評価すれば、入学希望者の増加に結び付く
- ・拠点校と連携校との協力関係を他の専門高校へも広げ、産業を担う気概の醸成に期待
- ・本取組を基盤として、学科横断による生徒同士のつながりが一層充実することが期待される。そのための指導の工夫について、引き続き研究を深めていただけると、さらに参考となる。